

JA 仙台 稲作情報 第 4 号

水稻の生育は高温が続く草丈は平年値を超えている状況で、茎数は平年を下回っておりますが有効茎数確保されている圃場が多く見受けられます。葉色は場所によって濃いめのところもありますが、落ちてきている状況です。既に幼穂形成期となっており葉色の淡いところでは肥切れとなっていることが考えられますので、品質低下防止と収量低下防止を鑑みて追肥を検討してください。

1) 生育調査結果 (7/10 現在)

() 内平年比較値

地点	品種	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	葉色 (GM 値)	幼穂長 (mm)	調査機関
仙台市	ひとめぼれ	5/22	69.9 (108%)	26.6 (90%)	34.1 (-2.6)	1.7	仙台農改
名取市		5/18	68.7 (109%)	26.6 (99%)	40.2 (-1.2)	4	亶理農改
亶理町							
山元町	5/18	65.6 (100%)	24.0 (90%)	40.5 (-4)	2	亶理農改	
岩沼市	つや姫	5/15	75.0 (111%)	23.7 (87%)	35.9 (-4.8)	0.6	亶理農改
亶理町	だて正夢	5/7	78.8 (103%)	26.6 (82%)	35.6 (-5.2)	7	亶理農改

2) 今後の栽培管理

○追肥する場合は葉色の観察を行い適期に実施しましょう。

施肥窒素の減少は昨年よりも早くなっておりますが、土壌窒素発現量は6月中旬にかけて平年より多い傾向にあります。草丈が長い場合は幼穂形成期の追肥を避けて減数分裂期に追肥を行ってください。

表 2 生育ステージにおける葉色の目安 (葉色板値) 参考: 幼穂長 1~2 mm、出穂 20~25 日前

品種	幼穂形成期	減数分裂期
ひとめぼれ	38~40	35~37
ササニシキ	34~36	32~34
まなむすめ	35~37	36~38

表 3

品種	幼穂形成期	減数分裂期
ひとめぼれ	1.0kg	1.0kg
ササニシキ	—	1.0kg~1.5kg
まなむすめ・つや姫	2.0kg	—

○水管理

出穂前後では最も水が必要となる時期ですので水管理については間断灌漑による浅水管理とし登熟期には飽水管理を継続して田面の乾燥防止と温度上昇を抑制しましょう。

○病虫害防除

- ・いもち病は平年並みの予想で6月26日に発生好適条件となりましたが、管内ではまだ確認されておられません。
- ・紋枯病は平年よりやや多い予想です。前年発生した圃場では今年も発病の恐れがありますので、薬剤による防除を検討してください。(バリダシン粉剤 DL、モンガリット粒剤等)
- ・斑点米カメムシについてはやや多い発生となる予想です。水田畦畔のイネ科雑草、水田内のホタルイ・イヌビエ等に産卵し生息していますので草刈りは出穂の10日前までに終わらせてください。

圃場をよく巡回して斑点米カメムシの早期発見と適期防除の実施をお願いします。

薬剤による補完的防除をする場合は、穂揃期とその7日後であわせて2回散布するのが効果的です。

(スタークル剤、ダントツ剤、キラップ剤等ですがその使用方法種類についてはJAにお問い合わせください。)